

8. 目標値・効果

8 目標値・効果

8-1 目標値等の設定に関する基本的な考え方

本計画の必要性や妥当性を市民等の関係者に示すためには、客観的かつ定量的に評価する必要があり、その達成状況を確認することが重要です。

そこで、本計画の「誘導方針」の実現に向けた目標値を設定し、当該目標値の達成状況等をもとに、本計画の見直し時期に合わせて評価、分析することにより、施策の必要性や妥当性を検証します。

8-2 目標値の設定・期待される効果

本計画で掲げたまちづくりの方針・誘導方針を実現するため、各誘導方針に関する評価指標を設定するとともに、各種施策の推進により期待される効果を整理します。

《 各誘導方針に関する評価指標 》

指 標	誘導方針	現状値	目標値
居住誘導区域の人口密度	誘導方針 1、2	39.4 人/ha (令和 2 年度)	25 人/ha ※ 1 (令和 27 年度)
居住誘導区域の除雪の満足度	誘導方針 2	40% ※ 2 (令和 5 年度)	43% ※ 2 (令和 11 年度)
市民の公共交通に関する満足度	誘導方針 3	19% (令和 5 年度)	25% (令和 9 年度)

※ 1 将来人口が社人研推計のとおり推移した場合 23.7 人/ha となる。（“国土数値情報”より公開されている 500mメッシュ人口より算出（社人研の令和 5 年推計値を加味））

※ 2 現状値は令和元・3・5 年、目標値は令和 7・9・11 年の 3 か年の平均値とする。

なお、上表の“居住誘導区域の除雪の満足度”の目標値については、計画を更新する際に変更します。また、“市民の公共交通に関する満足度”の目標値については、「十日町市地域公共交通計画」を更新する際に変更します。

各種施策の推進による効果

将来の居住誘導区域人口密度を 23.7 人/ha→25 人/ha に減少抑制できた場合

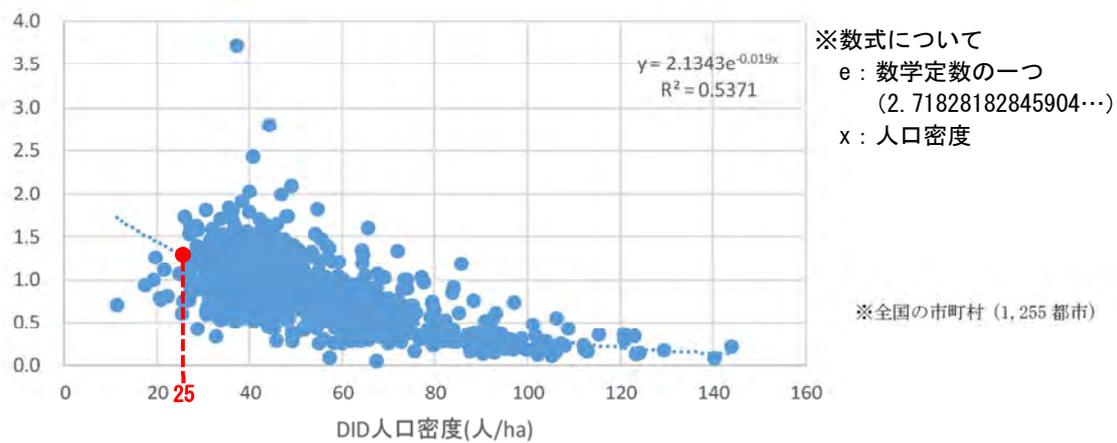
運輸部門の省エネ・低炭素化
(市民 1 人あたりの自動車 CO2 排出量の削減)

持続可能な都市経営の実現
(市民 1 人あたりに対する歳出額の削減)

【期待される効果①】 運輸部門の省エネ・低炭素化 (人口密度の低減抑制による自動車 CO₂ 排出量の削減)

居住誘導区域人口密度 現況値 (令和2年度)	同・社人研推計値 (令和27年度)	同・目標値 (令和27年度)
39.4 人/ha	23.7 人/ha	25 人/ha

■ DID 人口密度と市民 1 人当たりの自動車 CO₂ 排出量 (t-CO₂/年) の相関



資料 : 「都市構造の評価に関するハンドブック」(国土交通省都市局都市計画課)

※DID と居住誘導区域の範囲がほぼ同じであるため、当関係グラフを採用した

■ 自動車 CO₂ 排出量削減効果の算出

項目	現況値	社人研推計値	目標値
居住誘導区域人口 (人)	9,875	5,952	6,268
居住誘導区域面積 (ha)	250.7	250.7	250.7
居住誘導区域人口密度 (人/ha)	39.4	23.7	25.0
一人当たり自動車 CO ₂ 排出量 (t-CO ₂ /年) 算定式 : $y = 2.1343e^{-0.019x}$	1.010	1.360	1.327
自動車 CO ₂ 排出量削減効果 (t-CO ₂ /年・人)			0.033 t-CO₂/年・人

本市の 1 世帯当たり CO₂ 排出量 (R3)

約 4.3 t-CO₂/年・世帯

約 220 世帯分の年間排出量の削減効果

全市で期待される排出量削減効果 総量

965.6 t-CO₂/年

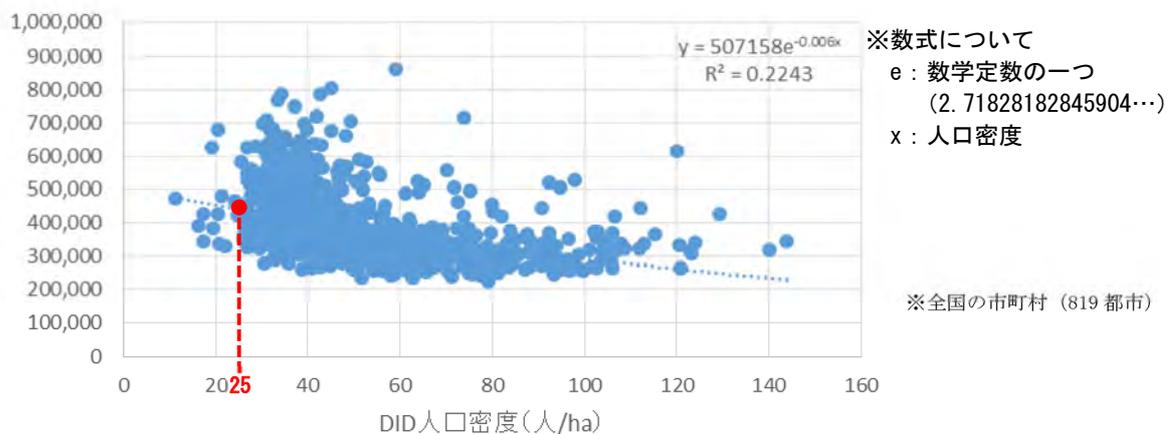
(R27 推計人口 : 29,262 人 × 0.033 t-CO₂/年・人)

8. 目標値・効果

【期待される効果②】 持続可能な都市経営の実現 (人口密度の低減抑制による歳出の削減)

居住誘導区域人口密度 現況値 (令和2年度)	同・社人研推計値 (令和27年度)	同・目標値 (令和27年度)
39.4人/ha	23.7人/ha	25人/ha

■DID人口密度と市民1人当たりに対する歳出額(円)の相関



資料: 「都市構造の評価に関するハンドブック」(国土交通省都市局都市計画課)

※DIDと居住誘導区域の範囲がほぼ同じであるため、当関係グラフを採用した

■歳出削減効果の算出

項目	現況値	社人研推計値	目標値
居住誘導区域人口(人)	9,875	5,952	6,268
居住誘導区域面積(ha)	250.7	250.7	250.7
居住誘導区域人口密度(人/ha)	39.4	23.7	25.0
一人当たり歳出額(円/人) 算定式: $y=507158e^{-0.006x}$	400,383	439,933	436,515
歳出削減効果(円/年・人)			3,418 円/年・人

全市で期待される歳出削減効果 総額

100,017,516 円 (約1億円)

(R27推計人口: 29,262人 × 3,418円/年・人)